

臨床研究

臍頭十二指腸切除時のウーンドリトラクター・牽引開創器併用に伴う 医療関連機器圧迫損傷発生の現状と対策について

災害医療センター診療看護支援教育室では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

外科手術に使用されるウーンドリトラクターは切開創面の保護をし、表層の手術部位感染の低減にもつながると報告されているより良い視野・術野を確保する開創器です。臍頭十二指腸切除時にも開創器としてウーンドリトラクターと牽引開創器を併用しておりますが、使用後に皮膚トラブル（医療関連機器圧迫損傷）が生じてしまった症例があったため、現状の把握と対策を検討する調査です。

② 研究対象者

独立行政法人国立病院機構災害医療センターにて2022年9月1日から2023年2月28日までの期間に、臍頭十二指腸切除術を受けられた患者さんを対象とさせていただきます。

③ 総研究期間

倫理委員会承認日～2024年3月31日までの期間、診療録・看護記録を参照させていただきます。

④ 研究の方法

カルテから得られる情報を登録し、解析させていただきます。

⑤ 情報の項目

- 年齢、性別、身長、体重
- 皮膚トラブルの発生部位・状況
- 検査値（アルブミン値、ヘモグロビン値等）
- 手術関連データ（手術時間、麻酔時間、出血量、術中体温、血圧、脈拍）

⑥ 情報の第三者への提供について

研究で得られた情報は匿名化を行い、研究担当者が研究のデータとして使用いたします。
第三者への提供はいたしません。

⑦ カルテ等の調査について

患者さんの人権が守られながら適切に研究が実施されているかを確認するために、本研究の関係者があなたのカルテなどの医療記録を見ることがあります。しかし、それらの者には守秘義務が課せられており、あなたの個人情報が明らかになることはありません。

⑧ 研究成果の公表手段

研究の成果は、災害医療センター院内や学会などで発表・報告する場合があります。患者さん個人を特定する情報は含まず、個人情報を守られます。

⑨ 本研究における利益相反について

臨床研究における利益相反とは「主に経済的な利益関係により、公平、公正、中立的な立場での判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態のこと」を指します。本研究において、開示すべき利益相反はございません。

⑩ 情報の管理について責任を有する者

災害医療センター 診療看護支援教育室副室長 診療看護師 吉田弘毅

⑪ 研究実施医療機関名および研究責任者名

災害医療センター 診療看護支援教育室

研究責任者：吉田弘毅

⑫ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑬ 問い合わせ連絡先

災害医療センター：〒190-0014 東京都立川市緑町 3256 番地

所属・担当者名：診療看護支援教育室副室長 副看護師長 診療看護師 吉田弘毅

電話番号：042-526-5511 【受付時間】 平日（月～金曜）9：00-17：00